

## 茨城県の情報

茨城県内の総人口 **2,845,097人**  
(内訳 男性：1421,902人/女性：1,423,195人)  
(※2021年度)

がん死亡者数 (%) **373,334人 (27.9%)**  
(内訳 男性：220,398人/女性：152,936人)  
(※2017年度)

### 高齢化率

	65歳以上人口 (率)
茨城県	842千人 (29.8%)
全国	36,110千人 (28.7%)

(※2020年度)

## 茨城県の特性

### 茨城県の特徴

- ・可住地面積が広い

茨城県の総面積は全国でも24位（6095.69km<sup>2</sup>）と、47都道府県中のほぼ中位にある。

しかし、（総面積） - （森林面積 + 主要湖沼面積）で定義される可住地面積では4位（3975.98km<sup>2</sup>）になる。自然が豊かなイメージのある茨城県だが、可住地面積も広く、総面積に占める可住地面積の割合も65.2%と全国4位になっている。

- ・自動車保有台数が多い

広い茨城県内を移動するのに、欠かせないのが自動車である。千人当たりの自動車保有台数を見ても、全国4位と上位にきている。また、茨城県の1世帯当たり人員を2.78人として単純計算すると、1世帯に1.65台と、2台弱の車を持っていることになる。

## 茨城県の特性

### がんの罹患状況

#### 部位別罹患数及び順位

#### 茨城県の状況（2014年）

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	胃 1,953例	前立腺 1,820例	大腸 1,764例	肺 1,749例	肝 586例
女性	乳房 1,649例	大腸 1,163例	胃 873例	肺 688例	子宮 587例
男女計	大腸 2,927例	胃 2,826例	肺 2,441例	乳房 1,820例	乳房 1,659例

肺：気管・気管支及び肺,大腸：結腸及び直腸,肝：肝及び肝内胆管

## 茨城県の特性

### がんによる死亡者数

#### 茨城県の状況

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
男性	5,091人	5,237人	5,372人	5,282人	5,383人
女性	3,334人	3,402人	3,451人	3,513人	3,437人
男女計	8,425人	8,639人	8,823人	8,795人	8,820人
死亡総数に 占める割合	27.7%	28.5%	28.5%	28.0%	27.3%

出典：茨城県人口動態統計（茨城県保健福祉部厚生総務課）

## 茨城県の特性

### 部位別死亡者数順位

#### 茨城県の状況（2016年）

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺 1,295人	胃 817人	大腸 743人	肝 386人	膵 383人
女性	大腸 545人	肺 451人	胃 359人	膵 351人	乳房 332人
男女計	肺 1,746人	大腸 1,288人	胃 1,176人	膵 734人	肝 536人

肺：気管・気管支及び肺,大腸：結腸及び直腸,肝：肝及び肝内胆管

病院名 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター  
都道府県名 茨城県

## 茨城県の特性

### 所属施設の紹介



## 茨城県内のがん患者の状況（2017年度）

がん種	罹患者数	罹患率	死亡者数	死亡率
肺がん	2,401人	12.52935%	1,695人	19.21115%
大腸がん	3,110人	16.22919%	1,332人	15.09691%
胃がん	2,648人	13.8183%	1,183人	13.40814%
乳がん	1,731人	9.033032%	326人	3.694888%
肝臓がん	819人	4.273861%	612人	6.936416%
	人	%	人	%
	人	%	人	%

## がん診療連携拠点病院の情報

### 都道府県がん診療連携拠点病院

- ・茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

1施設

500床

### 地域がん診療連携拠点病院

- ・筑波大学附属病院
- ・総合病院土浦協同病院
- ・筑波メディカルセンター病院
- ・株式会社日立製作所日立総合病院
- ・東京医科大学茨城医療センター
- ・友愛記念病院
- ・独立行政法人国立病院機構水戸医療センター
- ・株式会社日立製作所ひたちなか総合病院

8施設

800床

800床

453床

635床

501床

325床

500床

288床

## がん診療指定病院の情報

### 地域がん診療病院

- ・医療法人社団善仁会小山記念病院

1施設

224床

### 県指定小児がん拠点病院

- ・茨城県立こども病院

1施設

115床

### 地域がん診療連携拠点病院

- ・水戸赤十字病院 442床
- ・独立行政法人国立病院機構茨城東病院 428床
- ・独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター 250床
- ・JAとりで総合医療センター 414床
- ・水戸済生会総合病院 472床
- ・総合病院水戸協同病院 389床
- ・茨城西南医療センター病院 358床

7施設

## 茨城県におけるがん医療の特性

がん診療連携拠点病院の偏在

人口が県南部に集中している

がん薬物療法専門医の不足（人口当たり医師数全国46位）

高齢者率が高い

男性の前立腺がんの罹患数が高い

---

## 茨城県におけるがん化学療法の現状と課題

### 【現状】

高齢者や併存疾患を抱える患者が増加しており、遠方から通院している患者も散見される。

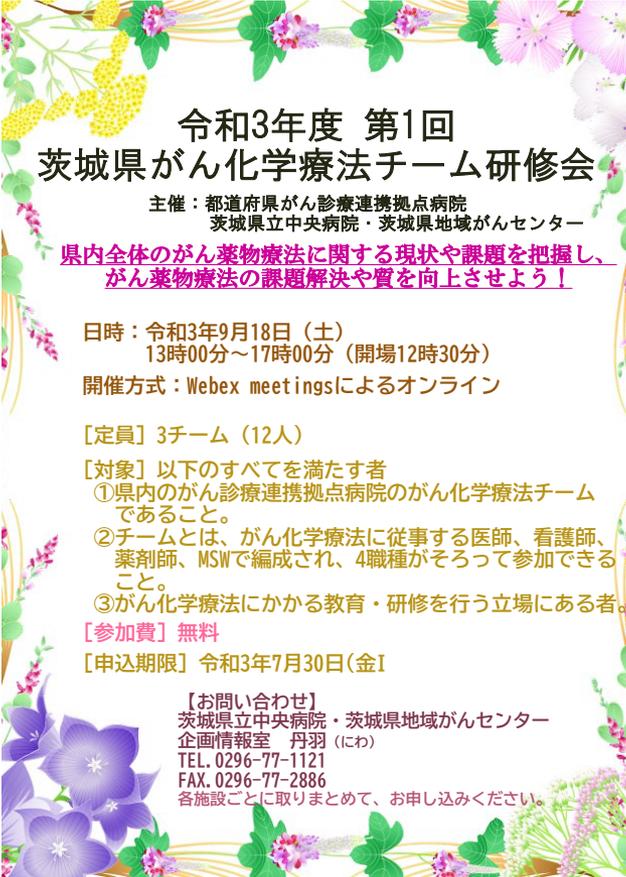
### 【課題】

各施設の現状を多職種で共有できていない。  
各職種間の連携が不十分。多職種チームがない。  
地域のニーズが把握できていない。

## 茨城県単位でがん医療の質向上に資する活動

2021年9月18日（土） 13時～17時

令和3年度第1回がん化学療法チーム  
医療研修会を実施。



令和3年度 第1回  
茨城県がん化学療法チーム研修会

主催：都道府県がん診療連携拠点病院  
茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

**県内全体のがん薬物療法に関する現状や課題を把握し、  
がん薬物療法の課題解決や質を向上させよう！**

日時：令和3年9月18日（土）  
13時00分～17時00分（開場12時30分）  
開催方式：Webex meetingsによるオンライン

【定員】 3チーム（12人）

【対象】 以下のすべてを満たす者

- ①県内のがん診療連携拠点病院のがん化学療法チームであること。
- ②チームとは、がん化学療法に従事する医師、看護師、薬剤師、MSWで編成され、4職種がそろって参加できること。
- ③がん化学療法にかかる教育・研修を行う立場にある者。

【参加費】 無料

【申込期限】 令和3年7月30日（金）

【お問い合わせ】  
茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター  
企画情報室 丹羽（にわ）  
TEL. 0296-77-1121  
FAX. 0296-77-2886  
各施設ごとに取りまとめて、お申し込みください。

病院名 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター  
都道府県名 茨城県

研修でうまく行えている点をあげてください

県拠点病院の事業として認めてもらえた

事務方（企画情報室）のバックアップ、協力してくれた（Web開催）

上記が上手に行えるように工夫している点は何ですか

病院上層部に理解が得られるよう、チーム研修会の趣旨について丁寧に説明した

病院名 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター  
都道府県名 茨城県

## 研修で困っている事をあげてください

県に、化学療法部会がない。

予算をとる場合、となりの部署の予算をとるのか、病院の予算にするのか。

## 研修計画の評価

### 【研修デザインに関する評価】

コロナ禍でありweb開催はやむを得なかった。  
3施設応募したが1施設しか集まらなかった。

### 【研修結果に関する評価】

各職種の役割を理解することを目的としたが、グループワークも活発で、発表をプレゼンテーションしてもらい、成果が得られたと考える。

## 次回に向けた課題と方向性

### 【課題】

- フィードバックのためのアンケート調査で当院の取り組み、現状をお話しすることを期待した声があった。

### 【方向性】

- 今後、研修会のシリーズ化で、協働チーム活動をとおして化学療法の質の向上を目指す。
- テーマを明確にし、当院の取り組みや仮想症例を用いつつ、各テーマでのそれぞれの職種の役割を理解する。

# 研修の概要

## 【タイトル】

令和4年度 第1回 茨城県がん化学療法チーム研修会

## 【背景】

時折、遺伝性腫瘍が偶発的に見つかるケースが増えている。

がんゲノムプロファイリング検査が保険適応となり、臓器横断的薬剤の治験紹介のケースも散見される。

成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドラインも策定される背景を鑑みると、今後対象患者は増加するとおもわれる。

【目的】茨城県における、がんゲノムについての基礎を学ぶ。

【対象者・人数】 県内3施設、1施設4人（医師、看護師、薬剤師、MSW）  
（県北、県央、鹿行を中心とする）

## 【目標】

### 一般目標（GIO）

がんゲノム医療の基礎を習得することで、見落としなく適切な医療を提供できる。

### 到達目標（SBO）

各職種間のがんゲノム医療における役割を理解する。

各職種間で情報共有し、多面的な支援ができる。

病院名 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

都道府県名 茨城県

# プログラム

1日目

事前講義（平日夕方；60分＋質疑15分、遺伝性腫瘍、がんゲノムプロファイリング検査、遺伝子カウンセリングについて）あり。

開始	終了	時間	研修方法	内容
13:00	13:10	10	開会	オリエンテーション
13:10	13:25	15	施設紹介	アイスブレイク含む
13:25	13:55	30	講義	当院のゲノム外来の現状、事前講義のうち肝となる箇所のおさらい
13:55	14:05	10	休憩	
14:05	14:20	15	仮想症例	事例紹介（遺伝性が疑われるような症例？）
14:20	14:50	30	グループワーク①	施設での役割
14:50	15:00	10	休憩	
15:10	15:40	15	グループワーク②	職種間での役割
15:40	16:05	25	グループワーク③	施設での役割
16:05	16:15	10	休憩	
16:15	16:55	40	各施設発表	12分*3施設
16:55	17:10	15	閉会・まとめ	

# 研修の評価

## 【実施評価】

事前の周知により県内の施設を集められたかどうか。  
すべての職種で理解が得られたかどうか。

## 【結果評価】

各職種の理解度・満足度を事後アンケートを行う。

## 【企画評価】

実施評価、結果評価を踏まえ、企画全体の適切性を評価する。  
Webという環境で話し合えたか、時間通り行えたかどうか。

病院名 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター  
都道府県名 茨城県

## 令和4年度 第1回 茨城県化学療法チーム研修会

～がんゲノム医療におけるチーム医療～

### 【学習目標】

がんゲノム医療の基礎を習得することで、見落としなく適切な医療を提供できる。  
各職種間のがんゲノム医療における役割を理解する。

### 【事前準備】

事前アンケート（聞きたいこと、不安な点）

### 【会場準備】

・Web（Web Ex）

### 【すすめ方】

講義、症例提示、グループディスカッション

### 【セッションでの留意点】

職種間はやや短めに（ファシリテーター重要）